

## 天網恢々疎にして漏らさず

(てんもうかいかい そにして もらさず)

おはようございます。

昨日は、この体育館で向中地区青少年育成委員会主催の「音楽の夕べ」が開催されました。本校の吹奏楽部と鐘淵中学校吹奏楽部、そして墨田川高校吹奏楽部、総勢約100名の部員が特設ステージで、協演しました。この地域の議員さんや教育次長様をはじめとする教育委員会の方々も来賓としてお見えになり、老若男女約300名のお客様が来校して盛大な会となりました。今年度、いよいよ向島中と鐘淵中が長い歴史を閉じること、また、来年度、新校桜堤中学校になっても見守りを続けて地域の学校として盛りたてていきたいと思いますという思いを込めた会とすることができました。協力してくれた生徒や先生方、本当にありがとうございました。

さて、今日は、「天網恢々疎にして漏らさず」というお話をしたいと思います。難しい漢字ですが、この言葉は中国の思想家の老子という人が言った古いことわざです。

**【意味】 天の意思は非常に公平で、どんな悪事でも逃がすことはない。悪事を働くと必ず罰せられる、ということ。**

[説明] 天網(てんもう)=天が張り巡らした法の網。 恢恢(かいかい)=広大である。疎(そ)=粗い。

※天が張り巡らせた法の網の目は、隙間(すきま)だらけで粗(あら)いように思えるが、広大であり何一つ漏(も)らすことなく捕らえて逃がさない、ということから。

このことわざは、私が一番大切にしている「心のことわざ」です。簡単に言えば、「悪いことはするなよ、天はすべてお見通しだよ」と、いうことです。「少くくらは悪いことをしてもいいだろう。どうせわかりっこない」と思ってもいつかはばれる。そうなるからはじめて「何でやってしまったんだろう」と思っても、あとのまつりで後悔ばかりが残ってしまったという経験をした人もいます。「正直に生きて頑張っている大勢の人が損な役割を引き受け、少数のずるい人間が楽をする」そんないやな世の中にしないためにも、みんなでルールやマナーを守っていきましょう。学校内でも悪ふざけをして他人にケガをさせたり、持ってきてはいけない不要物をもってきたりなど、「ちょっとくらい」という心の隙間から生まれる悪い心を自分で規制できるように、また、やってしまいそうな人がいたら「そんなこと、やめた方がいいよ」と声をかけてあげることも大切なことではないでしょうか。学校は楽しい場所、みんなが過ごしやすい場所にするためには、やはり一人ひとりの努力と全員の協力が必要だと思います。

「天網恢々疎にして漏らさず」このことわざを心に留めて生活をしてください。